



オンライン授業について



情報センター

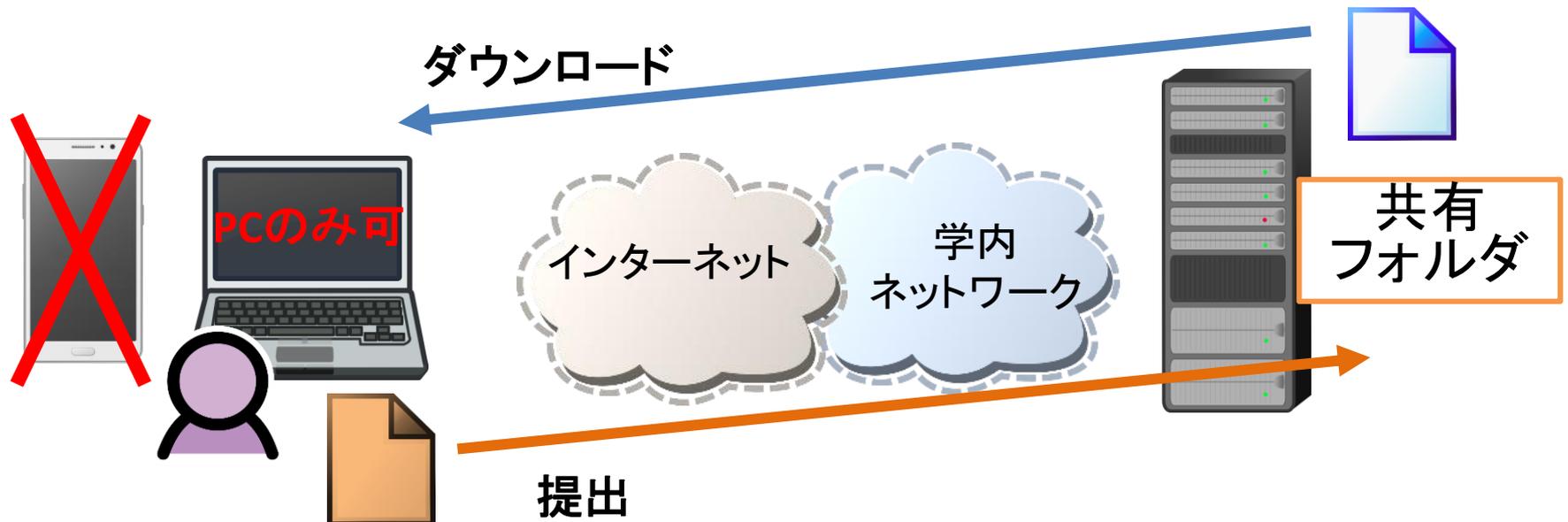
- オンライン授業の種類と受講方法
- 動画配信の視聴方法
- ネットワーク共有ドライブの利用方法
- Surfaceユーザへの設定変更の案内

次の3種類があります

1. 教材・課題提示型
2. 動画配信型（リアルタイム方式）
3. 動画配信型（オンデマンド方式）

大学の学内ネットワーク共有フォルダから、指定された教材を自分のPCにダウンロードし、課題に取り組みます。

もし課題の提出指示があれば、その課題を同じく指定された場所へ提出します。PCで行います。



動画配信型は、教員からの動画をスマートフォンやPCで視聴します。**スマートフォンからの視聴は、通信量・パケット契約に注意してください**

授業時間に開始され、教員がその場で話す**リアルタイム形式**と、あらかじめ作成された動画を、YouTubeのようにWeb上で視聴できる**オンデマンド形式**があります



どちらもOK!

教材・課題提示型、動画配信型のどちらもインターネットに接続できれば受講できますが、教材・課題提示型の授業では、**いくつかソフトが必要になります**

また手順が少し増えます。ここから、その方法を紹介します

教材のダウンロードや、課題の提出はネットワーク共有ドライブ(教材フォルダ)で行います

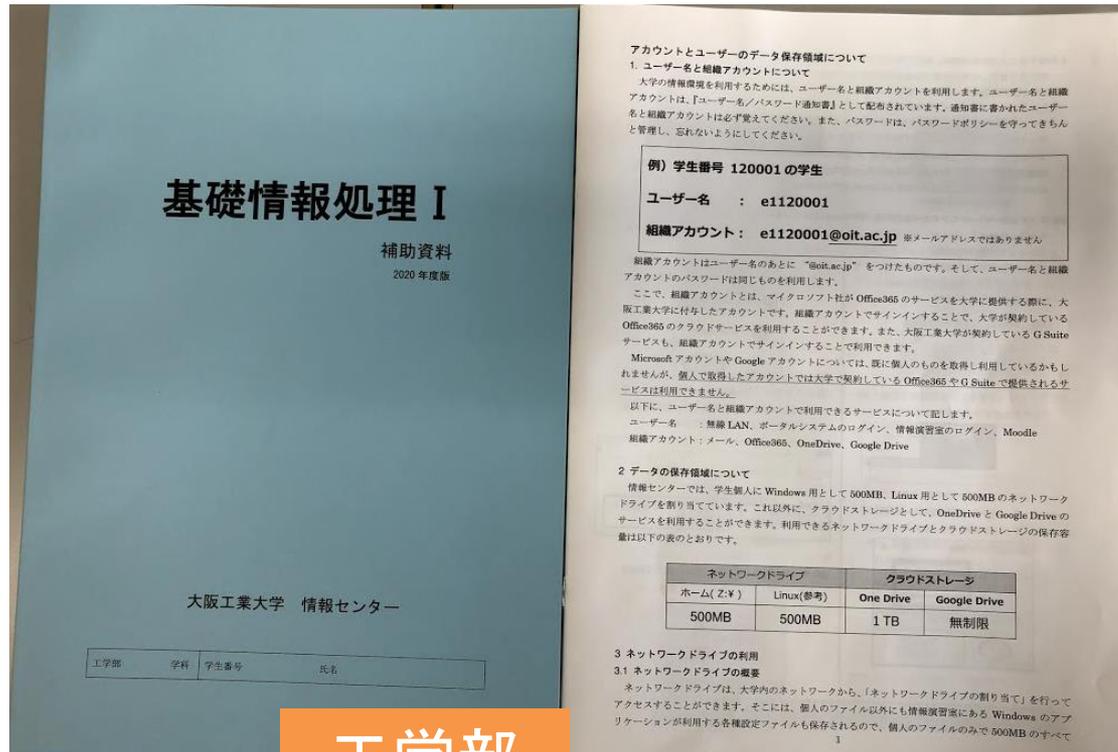
ただし、大学内からしか接続できません

そのため、もし学外(自宅など)からは、インターネットに接続した上で、次に説明するVPNツールを使用し**大学ネットワークに接続する必要があります**

自宅から資料をダウンロードしたり、提出したりする流れ：
2, 6のVPNツールは大学内からの場合は不要

1. インターネットに接続
2. VPNツールで学内ネットワークに接続
3. ネットワーク共有ドライブ用ソフトを起動
4. 教材をダウンロード、あるいは課題を提出
5. ネットワーク共有ドライブ用ソフトで切断・終了
6. VPNツールで学内ネットワークへの接続を切断・終了

工学部では、「基礎情報処理I」の授業で配布する「基礎情報処理I 補助資料」を参照してください



VPNツール (VPNクライアントソフトウェア) のインストール **補助資料 p.8**

VPNツールの設定と利用方法 **補助資料 p.10**

ネットワークドライブ用ソフト (ファイルサーバーマウントツール) の利用方法 **補助資料 p.6**

※A科 Macのネットワークドライブの利用方法
補助資料 p.7

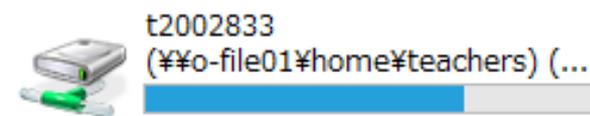
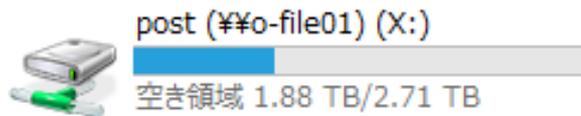
ネットワークドライブは、X, Y, Zに分かれています
課題を提出するのはXドライブ
教材をダウンロードするのはYドライブ
Zドライブは授業で説明します(今は気にしない)

課題提出

教材配布

個人領域

ネットワークドライブ (Z)



教材配布、課題提出とともに、

【2021前期】授業フォルダ以下を使用することが前提になっていますが、各授業での指示に従いましょう

詳細な方法については、**教材のダウンロード方法**、**課題のアップロード方法**、も参照して下さい。そちらで実際に操作しながら説明しています

post

名前	更新日時
【2021前期】授業フォルダ	2021/03/12 13:35
(2020年度アーカイブ)(コロナ対応用オンライン...	2021/03/12 13:37
2021年度_履修申請要領	2021/03/12 13:48
CS_sheets	2021/03/12 13:50
C科	2021/03/12 13:49
D科	2021/03/12 13:49
E科	2021/03/12 13:49

common

名前	更新日時
【2021前期】授業フォルダ	2021/03/12 13:50
(前期アーカイブ)【コロナ対応授業用フォルダ】	2021/03/12 13:51
A科	2021/03/12 13:51
C科	2021/03/12 13:51
D科	2021/03/12 13:51

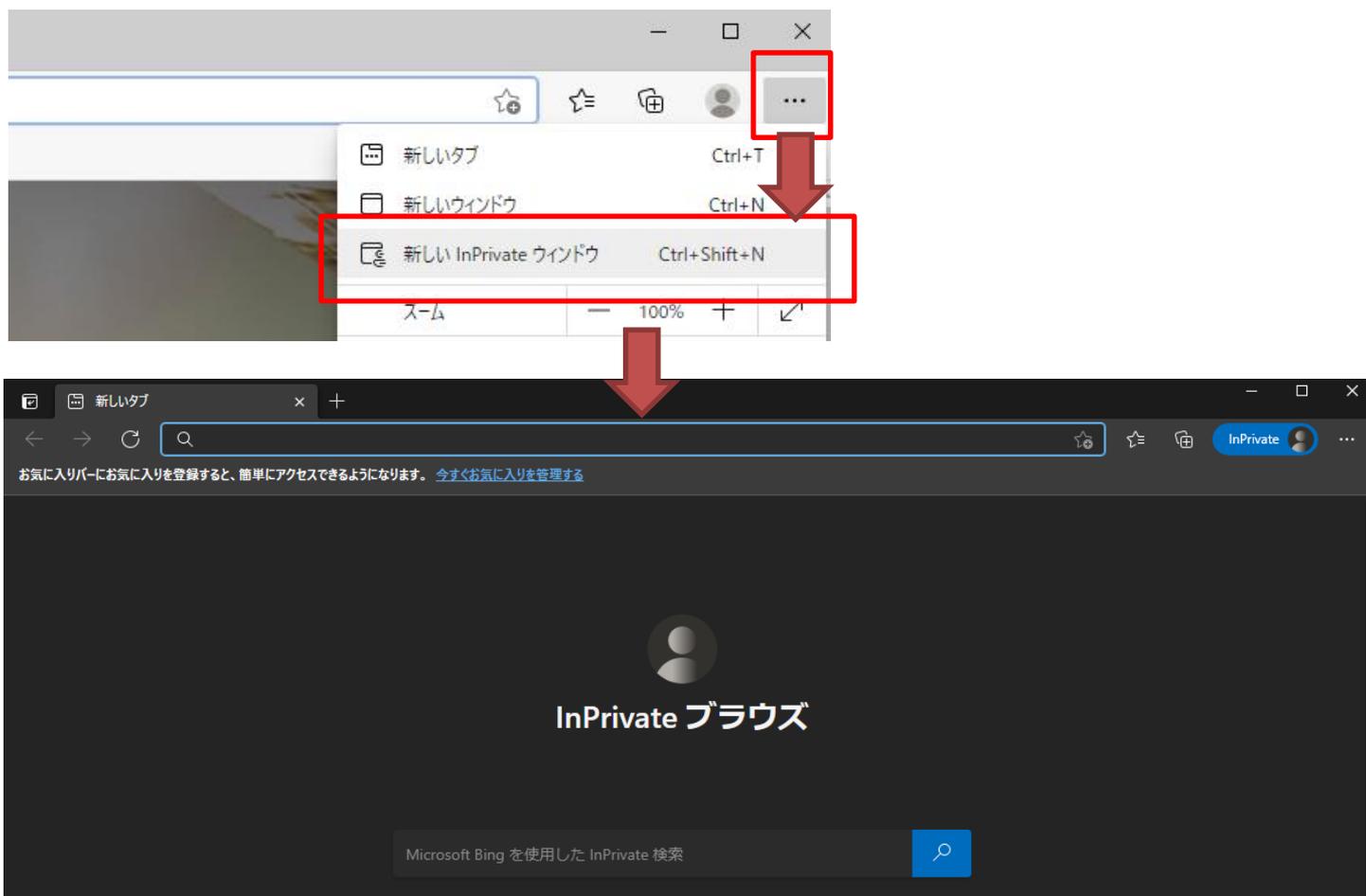
PC、スマホ、タブレットなど、インターネットに接続できていればどの機器でも視聴できます

必ずテストサイトに接続して、授業開始時までに視聴できるか確認しておくこと

Googleのログインが必要ですが、個人のアカウント ([xxxx@gmail.com](#)など)ではありません

大学の組織アカウント ([e1210999@oit.ac.jp](#)など) とパスワードでログインします

Webブラウザのシークレットモード (Edgeなら InPrivate ブラウズ) を使用すると確実



Surface ProあるいはSurface Laptopは、キーボードの設定変更が必要です

参考動画：<https://s.oit.ac.jp/srfj>

設定変更しないと、一部の記号がキーボード通りに入力できず、パスワード入力に問題があることがあります

